高品質、低価格の製品群

頑張る地元企業 23

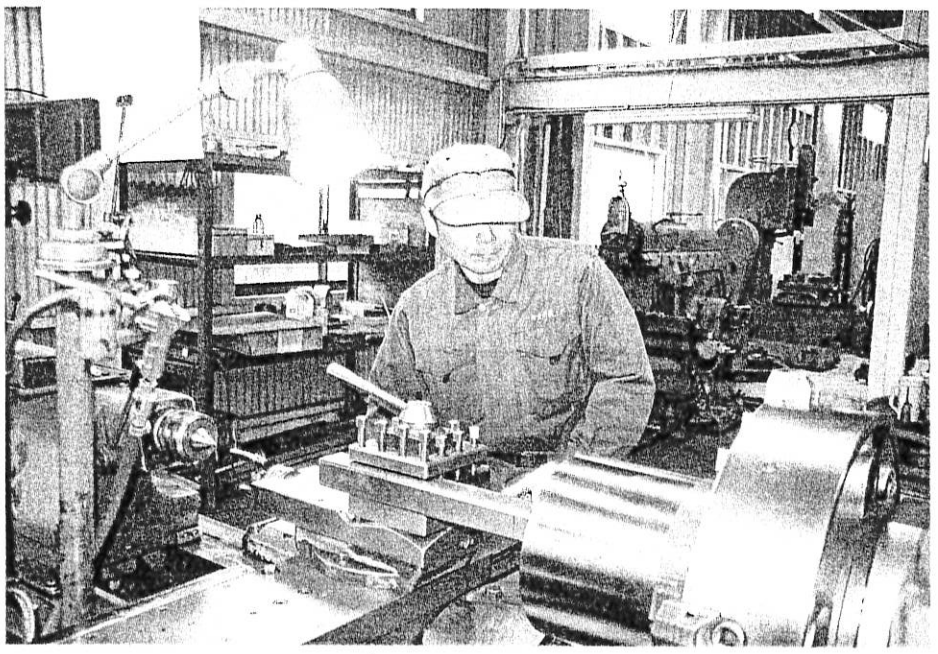
宮川鉄工所

産業機械などの部品製造を手掛ける金属加工業。「エブリデイ・ハイクオリティー&ロープライス」をモットーに掲げ、高品質、低価格の製品を提供。丸い形の部品作りを得意としている。

設立は一九三七年。創業七十周年の節目となった二〇〇七年には、工場に隣接する形で新工場も構え、より充実した体制で業務を展開。〇八年十月、有限会社から株式会社に組織変更した。宮川浩一社長(四九)は三代目の社長に当たる。

作っている製品は、破砕機や粉砕機といった産業機械の部品がほとんど。

工場内では従業員たちが、旋盤やフライス盤、ボール盤などの機械を使って鉄を加工。手作業も加えて、製品に仕上げている。



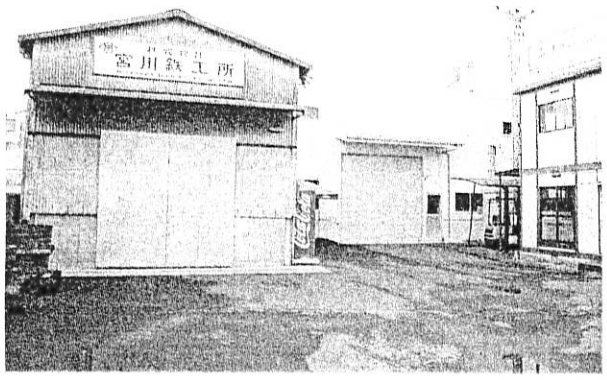
加工作業に励む従業員

顧客の要望に応え〝特注品〟

「町工場の技術力 発信したい」

大半の製品は、大量生産ではなく、顧客の要望に応じた単品少数のため、いわば毎日が「特注品」作り。宮川社長は「マニュアルもなく、図面を見ながら頭を悩ますことが多いが、同じ物ではない、顧客が求めるさまざまな製品を作る点に、面白さを感じる」と仕事の魅力を説明。「ただ経験、応用が必要なので、一人前の職人になるまでには、やはり時間がかかる。技術の継承、人材育成が難しい」と課題も口にする。

昨年夏までは忙しい日々が続いたが、秋以降は受注量が減少。景気悪化の波は、同社にも押し寄せている。「小さい会社なので、リストラはしたくない。今後しばらくは、どう受注を確保していくかが重要。顧客を増やして、幅広く仕事を取っていく努力をしていきたい」と宮川社長。経済、経営環境は厳しさを増しているが「東大阪市では町工場の人たちが人工衛星を手掛けたが、宇部でも、できないかと思う。鉄工業組合が中心となって、宇部の町工場の持つ高い技術をアピールしたい」と夢を語った。



幸町にある社屋・工場

社長プロフィル

宮川浩一(みやかわ・こういち)
1963年4月11日宇部市生まれ。琴芝小、常盤中、宇部フロンティア大付属香川高、千葉商科大商経学部卒。91年、宮川鉄工所に入社。専務を経て、2004年から社長。

会社概要

▽社名	株式会社宮川鉄工所
▽創業	1937年11月
▽本社所在地	宇部市幸町
▽代表者	宮川 浩一
▽資本金	1000万円
▽従業員数	7人
▽電話	21－4722
▽ファクス	32－5723

「仕事の幅広げ社会に貢献」

中村克俊さん

中村克俊さん(四一)は〇五年に入社。現在は、旋盤での加工を担当している。

「アットホームで会社の雰囲気はいい。自分は、まだまだ足りない部分が多いので、もっと仕事を覚えて、会社はもちろん社会にも貢献できれば」と話した。(枡永)